

【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

ホンダモビリティランド株式会社

別紙

「F1日本グランプリ」地域と世界をつなぐ共創型スポーツ観光モデル サステナビリティ&スポーツ観光としての躍進



桜が咲き誇る鈴鹿サーキット

オープニングセレモニーでの
歌舞伎披露

外国語で案内するインターナン生

F1チームと異文化交流する
鈴鹿市内の小学生

取組概要

● 地域と連携した国際スポーツイベント

1987年から三重県鈴鹿市でF1を開催。自治体・企業と協働し、地域一体で運営体制を構築することで、持続可能な大会の実現を目指している。2025年は35回目の開催となり、観客26.6万人、うち外国人客は約8万人を記録。

● 文化や食を通じた日本の魅力発信

歌舞伎の披露や三味線・和太鼓のパフォーマンス、三重県産の伊勢醤油など地場食材の提供、日本の食文化を体験できるケータリングなどを通じ、日本文化の魅力を発信。

● 広域観光の促進

三重県や観光協会と連携し、F1観戦と観光を組み合わせた観光パッケージを展開。県内の日本遺産関連施設等の特別ツアーも実施。

評価ポイント

● 発信力

F1開催の機会を捉えて、歌舞伎や日本食の提供などにより、日本文化の魅力発信を行っている。

● 経済効果

F1開催にあわせて三重県内周遊ツアーを実施し、観光を通じて地域経済に貢献している。

● 地域性

学生へのインターンシップの機会、児童への異文化交流の機会を提供している。

スポーツ文化ツーリズムアワード2025 【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)

奥信濃100実行委員会



～100年先もおもしろい～ レースと地域の相乗的・持続的な発展を目指す 「奥信濃100トレイルランニングレース」の開催



100kmレースのスタート



ブナの森を走るランナー



トレイル整備イベントの模様



家族と走るキッズレース

取組概要

- 「100年先もおもしろい」地域へ
長野県木島平村を舞台とするトレイルランニングレース。2021年より開始し、5回目の2025年は過去最高の約1,600名が参加。「奥信濃100」の「100」は、単に100kmというだけでなく、この地域の魅力を100年先まで維持することで、「100年続ける」という意志が込められている。
- 単発のイベントとしない、長期的な取組の工夫
大会コースかつ地域インフラでもある古道等の整備、次世代育成のためのキッズレース、大会シーズン外のアクティビティ体験をイベント化し、通年での観光客獲得を実現。

評価ポイント

- 独創性
「100年続ける」というコンセプトの下、地域インフラ整備、地域経済の成長、人材育成に取り組み、継続性のある取組となっている。
- 地域性
長期的なビジョンを地域の人々と共有し、そのための取組を地域一体となって進めている。
- 将来性
整備された古道等がレース期間外にも活用されているなど、地方創生に好影響を与えている。

スポーツ文化ツーリズムアワード2025 【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

株式会社 KURABITO STAY



酒蔵から始まる、地方創生と日本酒ツーリズムの可能性を創る KURABITO STAY 酒蔵ホテル®と蔵人体験＆酒米街道サイクリングツアー の展開による新しいツーリズム市場の創出



蒸した米を運ぶ参加者



酒蔵での参加者



蔵人が実際に宿泊まりした宿舎を改装



酒米の水田が広がる佐久の風景

取組概要

●本物の蔵人体験

長野県佐久地域の老舗酒造に滞在し、日本酒造りにおける麹作りや仕込みといった、本物の蔵人体験を提供する体験型宿泊プログラム。実際に蔵人の宿舎として利用されていた建物を宿泊施設に改装し、高単価でも価値ある滞在体験を提供。

●多彩かつ満足度の高いコンテンツの提供

インバウンドにも対応した、完全バイリンガルプログラムの2024年のインバウンド率は33%。リピーター向けのプランや、酒米の水田をめぐるサイクリングツアーといった新たな体験コンテンツも提供。

評価ポイント

●地域性

日本酒、古民家、地域の歴史文化という有形無形の文化資源をバランスよく組み合わせた取組である。

●独創性

現役の酒蔵における日本酒文化の本質に触れるユニークな体験の提供及び多様なコンテンツの展開により「地域そのものをホテル化」する独創的な取組である。

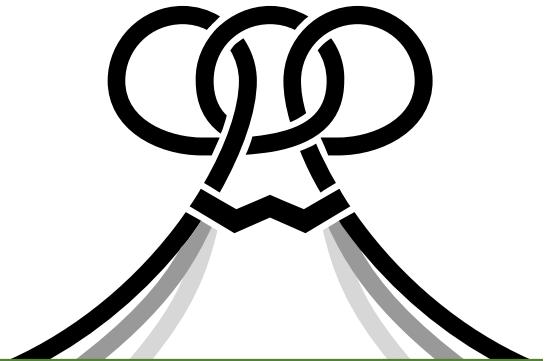
●経済効果

インバウンドの獲得や地域内での消費循環の創出による地域経済への波及効果に加え、地域における新たな雇用を創出している。

スポーツ文化ツーリズムアワード2025 【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

ウルトラうどんマラニック実行委員会



ウルトラうどんマラニック ～全エイドステーションが個性豊かな讃岐うどん店！目指すは完走＆完食！～



スタート前の記念撮影



観光スポットを駆け抜けるランナー



うどん店でうどんを楽しむランナーたち



完食賞

取組概要

- うどんを楽しみながら走る
ジョギング程度のスピードで、香川県を代表する食文化である「うどん」や風景を楽しみながら、完走と完食を目指すマラニック（マラソン+ピクニックの造語）大会。

- ご当地イベントから全国的に知名度の高い大会へ成長
2019年の第1回大会以降、2025年で第6回目。現在は口コミ等により県外からの参加者が7割以上を占め、前夜祭・後夜祭開催など長期滞在を促す工夫により、参加者の宿泊や飲食等による経済効果を地域にもたらしている。

評価ポイント

- 独創性
地域のうどん店をエイドステーションに見立て、完走証に加え「完食賞」を用意するなど、ユニークな取組である。
- 地域性
ランナーやうどん店を中心に地元の人々が参画しており、地域を巻き込んだ魅力ある取組である。
- 特別性
「うどん」を中心に据えることで、参加者に地域の食文化を体験させるテーマを明確にし、単なるマラソン大会ではなく、食とスポーツの融合を楽しむ特別な体験を提供している。

スポーツ文化ツーリズムアワード2025 【新しい観光賞】特別賞

(申請団体)

GMO OMAKASE株式会社



日本を代表する料理人による、閑散期の地方観光地を盛り上げる 富裕層向けダイニングイベントキャラバン



和歌山県白浜町でのイベント



北海道ニセコ町でのイベント



和歌山県白浜町でのイベント

取組概要

- 閑散期の観光地にスポットをあてたダイニングイベント
日本を代表する予約困難店の料理人11名によるダイニングイベントを閑散期の観光地で実施し富裕層を誘客。2023年8月から2025年2月にかけて、北海道ニセコ、長野県白馬、和歌山県白浜で計4回開催。客単価12.2万円にも関わらず即完売し、推計約4,000万円の経済効果を創出。

- 単発的な食体験から滞在型の観光体験へ
夕食時間帯でのイベント開催により、宿泊需要を創出するとともに、翌日以降の観光につなげ、滞在型の観光体験へと発展させている。

評価ポイント

- 独創性
店舗改装等により料理人が技術を発揮できない期間と閑散期の観光地を組み合わせた料理人・観光地の双方にとってメリットのあるユニークな取組である。
- 経済効果
夕食時間帯に開催することで、宿泊需要の創出及び翌日以降の観光活動により閑散期の観光地における観光消費を拡大している。
- 特別性
予約困難店ならではの高度な料理技術と地域食材を組み合わせ、地方にいながら名店の味を体験できる点に特別性がある取組である。

スポーツ文化ツーリズムアワード2025 【新しい観光賞】特別賞

(申請団体)

東京エクストリームウォーク100実行委員会



東京エクストリームウォーク100



湘南海岸沿いを歩く参加者と大会ロゴ



湘南の海沿いを車いすで進む参加者



100kmを完歩した外国人参加者たち



ゴール会場 東京・有明「livedoor
アーバンスポーツパーク」の様子

取組概要

- 自然と文化遺産、食に触れられるウォーキングイベント
小田原～東京間を26時間以内で歩く長距離ウォーキング大会。2019年に開始し、2025年（第10回）は2,468名が参加。小田原城を起点に富士山を望む東海道を進むコースで、自然を感じながら歩け、各チェックポイントでは地元特産品も楽しめる。

●ダイバーシティを意識した取組

- 18歳以上であれば、国籍・性別・障害の有無を問わず誰でも参加可能。年代は18歳～80歳代、首都圏を中心に北海道から沖縄までと幅広く参加しており、近年は外国人参加者も見られる。

評価ポイント

●発信力

新聞、ラジオと協力し、大会の魅力を継続的に発信するとともに、大会当日は特別番組の生放送により、大会を盛り上げている。

●地域性

小田原城、湘南海岸、江ノ島、みなとみらい、東京タワーなど多様な観光資源を巡るコースを設定。スタート会場では地元高校生がボランティアとして運営を支えている。チェックポイントでは小田原のかまぼこなど特産品を提供し、地域を感じる工夫もなされている。

●特別性

100キロの長距離を踏破するというチャレンジを観光と組み合わせ、楽しみながら達成感を得られる特別性の高い取組である。